

④ 質問紙で回収しても本システムは本人直接入力ばかりでなく、担当者の間接入力端末装置として利用が可能のため、より確実・迅速で統一性のあるデータ回収ができる。

⑤ Web の利用については医療の質の第 7 章情報技術 (IT) の活用のなかで「調査研究の実施に要する時間の短縮」<sup>(3)</sup> をあげている。

⑥ 費用面においては、ファイル管理、ファイル変換システムの業者委託費、サーバーレンタル料を考慮すると短期間で大量のデータ収集が望ましい。ただし、サーバーの機能により処理しきれないものもあるので、その機能面の確認は十分に検討したほうが良い。

## 2. 調査及び調査結果について

① 調査票については、質問内容で日本ではなじみのない表現や回答例が日本では「はい→いいえ」となっているのことが多いと思われるが、今回の調査票は「N o → Y e s」と逆の順序になっているため戸惑いを感じたようである。

② 今回の調査結果については、急性期と慢性期との病院の意識の差が現れたのではないかと考えられます。要因としては急性期に比べてのんびりとした環境が差となったと思われます。

③ しかしながら、差となって示された「F2 職場意識」、「F3 組織信頼度 (人的 V S システム)」、「F4 組織信頼度 (他組織)」、「F5 組織信頼度 (エラー頻度) の事項は緊張感の欠落 (安全意識の低下)、組織連携の不備 (意識の不統一) などがあげられ、これをもう一度検討し直し安全文化を形成する意識を再確認する必要があると

考えられます。

④ 4 施設の調査を通して、薬剤師の意識が他職種に比べて特異な傾向を示しました。この点についてはデータ数を増やして全国的な傾向なのかを調査し、同じような傾向が示されるのであれば、その原因が安全性への関わりにどう影響しているのかをさまざまな角度から研究することが必要と考えます。

#### 《引用文献》

- (1) 長谷川敏彦 (指南書「全病院患者安全管理システム構築」)
- (2) 藤澤由和 (科学院紀要「医療安全文化論—医療組織における安全文化概念—」)
- (3) 米国医療の質委員会/医学研究所 (医療の質第7章情報技術 (IT) 活用 P208)

#### 《参考文献》

- (1) 福井宏和 (電気評論 2001.5 組織の安全と人間)
- (2) 福井宏和 (INSS JOURNAL Vol18 2001 原子力発電における安全風土に関する研究)
- (3) Scott McKnight and Caryl Lee (Patient Safety Attitudes)

## 《語彙の解説》

日経 パソコン新語辞典 2001 年

## 注 1) WWW(world wide Web) = Web

インターネットで情報を共有するためのシステムのひとつ。単に Web とも呼ばれる。データ転送プロトコルの HTTP、文書の所在場所を指定する URL、文書記述言語の HTML、データの形式を指定する MIME という 4 つの基本技術で成り立っている。WWW で公開されている文書は、文書内に他の文書を呼び出せる「リンク」が設定されている点が特徴。これにより管理者が異なるコンピューターの中にある情報同士を結びつけて扱うことが可能になっている。

1990 年に欧州合同原子核研究機関 (CERN) の研究員ティム・バーナーズ・リー氏らによって開発された。現在、インターネットの情報サービスといえば、WWW を指すほど一般的な存在になっている。現在では、WWW データベースの文書検索や閲覧には Internet Explorer、Netscape Communicator といった Web ブラウザーを使う。

## 注 2) Web ブラウザー (ウェブブラウザ; Web browser)

インターネット上の Web ページを閲覧 (ブラウズ) するためのソフト。WWW ブラウザーまたは単にブラウザとも呼ぶ。米ネットスケープ・コミュニケーションズが開発した「Netscape Navigator」や、米マイクロソフトの「Internet Explorer」が代表的。ブラウズ (browse) には英語で、「本を拾い読みする、ざっと目を通す」などの意味がある。

## 注 3) URL (uniform resource locator)

インターネット上の情報のありかと取得方法を指定する記述方式。WWW ブラウザーのアドレス欄などに入力して必要な情報を取り出す際に使用する。例えば、  
<http://www.nikkeibp.co.jp/NPC/index.htm> という URL なら、HTTP プロトコルを使って [www.nikkeibp.co.jp](http://www.nikkeibp.co.jp) というドメイン名が

割り振られたサーバーにアクセスし、そこで NPC というディレクトリーにある index.htm というファイルを取得して Web ブラウザーに表示する。ftp://ftp.nikkeibp.co.jp/pub/npc.exe であれば、FTP 接続をして npc.exe ファイルを取得することを意味している。

注 4) ダウンロード(download)

通信回線を経由して遠隔地のコンピューターにあるデータを手元のパソコンに転送すること。一般的にはプログラムやデータなどのファイルを手元のパソコンにコピーし、大量のメッセージを一括して読み出す操作を指す。

注 5) CSV(comma separated value)

データベースソフトや表計算ソフトのデータを、テキストファイルとして保存する場合の標準的なファイル形式の一つ。拡張子は csv。項目やセルごとにカンマで区切って並べる。ほとんどのデータベースソフトや表計算ソフトがこの形式のファイルを読み書きできるため、あるアプリケーションのデータをほかのアプリケーションに読み込ませる時に利用される。

同様の役割を果たすものに、「タブ」で区切ったテキストファイルがある。データをカンマで区切る CSV とは違い、タブで区切るため、文字データ部分にカンマが含まれている場合などに適している。

なお、いずれも計算式や罫線などの情報は記録されない。

論 文 添 付 資 料

表1 &gt; 制度面からみた「安全」

憲法	1	船舶安全法	12
医療法	1	海上交通法	2
医師法	0	海上衝突予防法	16
薬剤師法	0	海上運送法	11
薬事法	9	鉄道事業法	3
保健師助産師看護師法	0	原子力基本法	9
食品衛生法	0	労働基準法	11
航空法	41	労働安全衛生法	149
航空機製造事業法	0	道路交通法	155

※条文内で「安全」の語彙が表記されている数

### 条文抜粋

日本国憲法（昭和21・11・3・公布 昭和22・5・3・施行）

前文（第2段落）

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

医療法（昭和23・7・30・法律205号）

第1条 この法律は、病院、診療所及び助産所の開設及び管理に関し必要な事項並びにこれらの施設の整備を推進するために必要な事項を定めること等により、医療を提供する体制の確保を図り、もつて国民の健康の保持に寄与することを目的とする。

第1条の2 医療は、生命の尊重と個人の尊厳の保持を旨とし、医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の医療の担い手と医療を受ける者との信頼関係に基づき、及び医療を受ける者の心身の状況に応じて行われるとともに、その内容は、単に治療のみならず、疾病の予防のための措置及びリハビリテーションを含む良質かつ適切なものでなければならない。

第20条 病院、診療所又は助産所は、清潔を保持するものとし、その構造設備は、衛生上、防火上及び保安上安全と認められるようなものでなければならない。

医師法（昭和23・7・30・法律201号）

第1条 医師は、医療及び保健指導を掌ることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与

し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする。

薬剤師法（昭和 35・8・10・法律 146号）

（薬剤師の任務）

第1条 薬剤師は、調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによつて、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする。

保健師助産師看護師法（昭和 23・7・30・法律 203号）

第1条 この法律は、保健師、助産師及び看護師の資質を向上し、もつて医療及び公衆衛生の普及向上を図ることを目的とする。

航空法（昭和 27・7・15・法律 231号）

（この法律の目的）

第1条 この法律は、国際民間航空条約の規定並びに同条約の附属書として採択された標準、方式及び手続に準拠して、航空機の航行の安全及び航空機の航行に起因する障害の防止を図るための方法を定め、並びに航空機を運航して営む事業の適正かつ合理的な運営を確保してその利用者の利便の増進を図ることにより、航空の発達を図り、もつて公共の福祉を増進することを目的とする。

原子力基本法（昭和 30年 12月 19日・法律第 186号）

施行、昭 31・1・1(附則)

改正、昭 42-法 72、昭 53-法 86、平 10-法 62、平 11-法 102

第1条（目的）

この法律は、原子力の研究、開発及び利用を推進することによって、将来におけるエネルギー資源を確保し、学術の進歩と産業の振興とを図り、もつて人類社会の福祉と国民生活の水準向上とに寄与することを目的とする。

第2条（基本方針）

原子力の研究、開発及び利用は、平和の目的に限り、安全の確保を旨として、民主的な運営の下に、自主的にこれを行うものとし、その成果を公開し、進んで国際協力に資するものとする。

労働安全衛生法（昭和 47・6・8・法律 57号）

（目的）

第1条 この法律は、労働基準法（昭和 22年法律第 49号）と相まって、労働災害の防止のための危害防止基準の確立、責任体制の明確化及び自主的活動の促進の措置を講ずる等その防止に関する総合的計画的な対策を推進することにより職場における労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。

道路交通法（昭和 35・6・25・法律 105号）

（目的）

第1条 この法律は、道路における危険を防止し、その他交通の安全と円滑を図り、及び道路の交通に起因する障害の防止に資することを目的とする。

関連サイト > (法庫) <http://www.houko.com/index.shtml> にて集計

## 表2&gt; 医療機関における安全文化の実態調査

I)以下の質問に対して必要事項を記入し、該当するものに○印をつけて下さい。

年齢：( )歳

職種経験年数：( )年目

性別：男性・女性

役職の有無：(有・無)

主任、師長、課長、副部長、部長、副看護師長、総師長、室長、事務長、副院長、院長、名誉院長

職種

医師・看護師または助産師・准看護師・看護助手・薬剤師・栄養士・診療放射線技師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床心理士・社会福祉士・介護福祉士・臨床工学士技士・事務職員・その他( )

II)以下の質問に対して最も当てはまると思われるものをお選びください。

a.全く同意できない(思わない又はしない)

b.あまり同意できない(あまり思わない又はあまりしない)

c.どちらでもない

d.まあ同意できる(すこし思う又はすこしする)

e.同意できる(思う又はする)

f.分からない/どれにもあてはまらない

1. 自分の部署では「安全」が重要であると考えられている。( )
2. 自院の幹部は職員全員が安全を心がけ安全に関わる規則を守るよう推進している。( )
3. 職場ではストレスや疲労を互いにチェックしている。( )
4. 自分は職場での仕事を誇りにしている。( )
5. 自院は医療の質に関して評判がよい。( )
6. 私は自分の仕事が好きである。( )
7. 仕事を終わらせるために、通常の業務が省略されることを上司は黙認している。( )
8. 自分は職場での安全を守ることに大変気を配っている。( )
9. 自分が業務を安全に行うための時間、人員、予算、設備がある。( )
10. 職場内における安全教育及び訓練は十分である。( )
11. 自分の部署では他の部署に比べて平均的にニアミスが少ない。( )
12. 自分の部署は他の部署と同様のレベルの業務を行っている。( )
13. 自分の部署の事故予防対策は他の部署の予防対策に比べて平均して良い。( )
14. 自院で働く職員は安全に対して大変気を配っている。( )
15. 患者はしばしば自院の医療安全体制に対して苦情を言う。( )
16. 自分が他の職員の前でミスを犯した場合、「恥ずかしい」と感じる。( )
17. もしも自分が診療行為中などにミスを犯しても、誰も気づいてない場合には黙っている。( )

## 表2&gt; 医療機関における安全文化の実態調査

18. ある治療・診療行為の具体的な手順がはっきりわからない場合でも、他の職員に聞かず、自分でなんとか対処する。( )
19. もし他の職員がミスをしたことに気づいても、本人を含めて他の人には何も言わない。( )
20. もし自分が犯したミスを他の職員により公にされた場合、その行為は自分に対する攻撃だと考える。( )
21. 医療事故報告を行った際に、上司は報告者に罪を与えることはない。( )
22. 自院の職員は安全規則違反や安全を犯すような危険な行為や状況を進んで報告する。( )
23. 同僚がミスをした場合、通常そのことを私に話す。( )
24. もし自分が同僚に治療や診療行為の手順などを尋ねた場合、同僚は私の知識や経験が乏しいようだと考える。( )
25. これまで同僚が犯したミスから多くのことを学び、自分の診療行為や治療行為に役立ててきた。( )
26. 自分の部署でミスをした職員は、必ずミスを報告する。( )
27. 自分の業務がオーバーワークになった時、そのことを同僚に伝える。( )
28. 業務遂行時、正しくないことや安全でない状態が分かった時は、そのことを他の職員にも警告する。( )
29. 業務遂行時、正しくないことや安全でない状態が分かった時は、自分でなんとかしようとする。( )
30. 業務遂行時、正しくないことや安全でない状態が分かった時は、無視して誰かがなんとかするだろうと考える。( )
31. 私は業務上の安全に関して、何らかの影響を与えている。( )
32. 業務中に危険な状況がおきたとしても、自分はそれを察知するだけの経験や訓練を受けていない。( )
33. 私は幹部が決めたことに、疑問をさしはさまない。( )
34. 上司や同僚に対して異なる意見を述べるよりも、賛成することのほうが望ましいと思う。( )
35. 患者の診療中に問題が起きたとき、たとえその診療を行っているのが誰であれ意見を述べる。( )
36. 自分は業務上の義務や責任を確実に果たすために、十分な訓練を積んでいる。( )
37. ストレスや疲労がたまっている場合、仕事にうまくこなせない。( )
38. 自院では、下からの意思疎通と上からの意志連携系統がはっきり存在している。( )
39. 自分の職場では、医療事故(Medical Errors)が頻発している。( )
40. 自分の職場でのミスの多くは、職員が患者と関わる時におきている。( )
41. 自分の職場でのミスの多くは、患者に関わることは少ない。( )
42. 自分の職場でのミスの多くは、重大な問題であることが多い。( )
43. 誰かがミスを犯したら、私は同じミスを犯さないように、その詳細を是非とも知りたい。( )
44. 他の職員のミスは、自分とは関係のない問題である。( )
45. 自分がミスを犯したら、誰にもそのことは知られたくない。( )
46. 他の職員の犯したミスを指摘した場合、自分は他の職員からの信頼を失う。( )
47. ミスが生じた場合、それは個人の問題であって、制度、手順、技術といったことの問題ではない。( )
48. ミスが生じた場合、それは個人の問題ではなく、制度、手順、技術といったことの問題である。( )
49. 自院における安全指針の内容を十分理解している。( )
50. 患者も医療安全の向上のために一定の役割を果たすべきだ。( )
51. 安全指針を含め自院では安全が組織の最優先課題とされている。( )
52. 現在の状況を考えると自院の安全対策は十分であると考えます。( )
53. 職種を超えて、安全に関する問題を話あうことは可能であると考えます。( )
54. リスクマネージャーがどういった活動を行っているか知っている。( )

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

表 3

## 医療安全文化意識調査調査者リスト

	配付CD	ｺｰﾄﾞ	性	年齢	部署	職種	役職	勤務年数	入力状
1	201	8158	女	54	看護部精神科病棟	准看護師	無し	10	○
2	202	13981	女	28	看護部4階病棟	看護師	無し	4	○
3	203	113	女	49	看護部神経科病棟	准看護師	無し	23	○
4	204	706	女	38	看護部神経科病棟	看護師	無し		○
5	205	16850	女	52	薬局	薬剤助手	無し	1	○
6	206	15151	女	37	看護部3階病棟	准看護師	無し	2	○
7	207	123	男	54	放射線室	放射線技師	室長	23	○
8	208	14388	女	30	医療相談室	SW	無し	4	○
9	209	16719	女	31	看護部2階病棟	准看護師	無し	1	○
10	210	12438	女	33	看護部内科外来	看護師	無し	5	○
11	211	9028	女	28	事務部	事務員	主任	8	○
12	212	16745	女	50	看護部2階病棟	看護師	無し	1	○
13	213	3488	女	59	看護部神経科病棟	看護補助者	無し	16	○
14	214	14531	女	27	看護部精神科病棟	看護補助者	無し	3	○
15	215	134	女	54	看護部精神科病棟	看護師	主任	30	
16	216	16891	女	44	薬局	薬剤助手	無し	1	○
17	217	3222	女	51	看護部2階病棟	看護補助者	無し	17	○
18	218	122	男	75	医局	医師	顧問	1	○
19	219	2779	女	18	看護部3階病棟	看護補助者	無し	1	○
20	220	10558	女	49	看護部4階病棟	看護師	看護師長	8	●
21	221	14399	女	47	薬局	薬剤助手	無し	6	●
22	222	16294	女	27	看護部2階病棟	看護補助者	無し	2	○
23	223	16189	女	32	看護部4階病棟	看護補助者	無し	1	○
24	224	16394	女	42	看護部3階病棟	看護補助者	無し	1	○
25	225	15721	女	25	看護部2階病棟	看護補助者	無し	2	○
26	226	14534	女	23	看護部4階病棟	看護補助者	無し	3	○
27	227	13862	女	31	看護部2階病棟	准看護師	無し	3	○
28	228	137	女	42	検査室	臨床検査技師	無し	21	●
29	229	138	男	47	薬局	薬剤師	薬局次長	24	○
30	230	6798	女	48	看護部精神科病棟	准看護師	無し	11	○
31	231	8105	女	54	看護部長	看護師	看護部長	10	○
32	232	9422	女	39	看護部内科外来	看護師	指導係	8	
33	233	17436	女	54	看護部3階病棟	看護師	無し	1	○
34	234	146	女	50	看護部精神外来	看護師	看護師長	32	○
35	235	17029	女	48	薬局	薬剤師	無し	1	○
36	236	14794	女	35	看護部3階病棟	看護師	無し	3	○
37	237	8876	男	42	医局	医師	医長	9	●
38	238	10864	女	41	給食部	栄養士	管理栄養士	2	○
39	239	16581	女	48	薬局	薬剤助手	無し	2	○
40	240	17406	女	45	看護部2階病棟	看護補助者	無し	0	○
41	241	14795	男	49	医局	医師	部長	3	○
42	242	6689	男	32	放射線室	放射線技師	主任	11	○
43	243	13101	女	50	看護部精神科病棟	准看護師	無し	6	○
44	244	2675	男	39	事務部	事務員	係長	19	○
45	245	10282	女	39	看護部2階病棟	看護師	看護師長	7	○
46	246	4408	女	59	看護部4階病棟	看護補助者	無し	16	●
47	247	9775	女	37	看護部4階病棟	看護師	主任	9	○
48	248	13839	女	40	看護部4階病棟	看護師	指導係	4	○

## 医療安全文化意識調査調査者リスト

	配付CD	ｺｰﾄﾞ	性	年齢	部署	職種	役職	勤務年数	入力状況
49	249	2829	女	42	検査室	検査助手	無し	2	○
50	250	170	男	59	医局	医師	副院長	25	○
51	251	10603	女	35	看護部4階病棟	准看護師	無し	2	●
52	252	13528	女	26	リハビリテーション室	作業療法士	無し	4	○
53	253	5691	女	50	看護部神経科病棟	准看護師	無し	10	○
54	254	6395	女	49	看護部4階病棟	看護補助者	無し	3	○
55	255	9969	女	46	看護部精神科病棟	准看護師	無し	5	○
56	256	14051	女	38	看護部4階病棟	准看護師	無し	5	○
57	257	14919	女	35	看護部2階病棟	准看護師	無し	3	○
58	258	11259	女	26	事務部	事務員	無し	5	○
59	259	14876	女	26	看護部4階病棟	看護師	無し	2	○
60	260	14502	女	25	リハビリテーション室	作業療法士	無し	3	○
61	261	17076	女	32	看護部2階病棟	看護師	無し	0	○
62	262	11695	女	43	看護部内科外来	看護師	主任	6	○
63	263	13462	女	37	看護部3階病棟	看護補助者	無し	4	○
64	264	16429	女	33	看護部4階病棟	看護補助者	無し	1	○
65	265	3381	女	52	看護部3階病棟	看護補助者	無し	17	○
66	266	10523	女	32	看護部神経科病棟	准看護師	無し	5	●
67	267	14934	女	32	看護部3階病棟	看護補助者	無し	3	○
68	268	17342	女	36	看護部3階病棟	看護師	無し	0	○
69	269	17228	女	30	看護部神経科病棟	看護師	無し	0	○
70	270	16717	女	23	看護部3階病棟	看護師	無し	1	○
71	271	14433	女	29	医局	医師	無し	3	○
72	272	14513	女	24	リハビリテーション室	理学療法士	無し	3	○
73	273	13996	女	54	看護部神経科病棟	准看護師	無し	4	○
74	274	7666	女	60	看護部神経科病棟	看護師	主任	15	○
75	275	13520	男	28	看護部2階病棟	看護補助者	無し	4	○
76	276	16965	女	41	看護部4階病棟	看護補助者	無し	1	○
77	277	11990	女	42	看護部精神科病棟	看護師	無し	6	○
78	278	16567	女	36	看護部4階病棟	看護師	無し	1	○
79	279	10614	女	52	看護部神経科病棟	看護師	指導係	7	○
80	280	315	女	44	薬局	薬剤師	主任	21	○
81	281	14499	女	25	事務部	事務員	無し	2	○
82	282	222	女	47	看護部2階病棟	准看護師	無し	24	○
83	283	3479	女	57	看護部精神科病棟	看護補助者	無し	16	○
84	284	7162	女	46	看護部神経科病棟	准看護師	無し	11	●
85	285	12364	女	39	看護部4階病棟	准看護師	無し	2	○
86	286	16819	女	37	リハビリテーション室	理学療法士	室長	1	○
87	288	16709	女	39	看護部2階病棟	看護補助者	無し	1	○
88	289	217	男	64	医局	医師	院長	33	○
89	290	7664	女	35	看護部精神科病棟	准看護師	無し	10	○
90	291	184	女	53	看護部3階病棟	准看護師	無し	24	○
91	292	17256	女	28	医局	医師	無し	0	○
92	293	8372	女	33	看護部4階病棟	看護師	主任	9	○
93	294	17141	男	25	医療相談室	SW	無し	0	○
94	296	216	女	55	看護部精神科病棟	看護師	無し	28	○
95	297	11168	女	50	看護部精神科病棟	准看護師	無し	7	○
96	298	13128	男	26	リハビリテーション室	理学療法士	無し	3	○

## 医療安全文化意識調査調査者リスト

	配付CD	ｺｰﾄﾞ	性	年齢	部署	職種	役職	勤務年数
97	299	11557	女	37	看護部精神科病棟	准看護師	無し	2
98	300	11393	女	31	看護部3階病棟	准看護師	無し	6
99	301	16496	女	37	看護部内科外来	看護師	無し	1
100	302	15986	女	52	看護部3階病棟	准看護師	無し	2
101	303	13801	女	22	看護部4階病棟	看護補助者	無し	4
102	304	14535	男	22	事務部	事務員	無し	2
103	305	12646	女	42	看護部神経科病棟	准看護師	無し	5
104	306	241	女	49	検査室	臨床検査技師	無し	28
105	307	13596	女	27	看護部3階病棟	看護補助者	無し	4
106	308	11254	女	43	看護部神経科病棟	准看護師	無し	0
107	309	2918	女	44	看護部精神科病棟	看護師	指導係	18
108	310	16424	女	21	看護部3階病棟	看護補助者	無し	1
109	311	6501	女	33	検査室	臨床検査技師	無し	12
110	312	209	女	55	検査室	臨床検査技師	室長	35
111	313	13303	女	24	看護部4階病棟	看護師	無し	
112	314	12817	女	46	看護部神経科病棟	看護師	無し	4
113	315	6273	女	50	看護部神経科病棟	看護補助者	無し	4
114	316	14691	女	40	看護部4階病棟	看護師	無し	3
115	317	16506	女	51	看護部2階病棟	看護補助者	無し	1
116	318	257	女	46	看護部4階病棟	准看護師	無し	5
117	319	6283	女	49	放射線室	放射線助手	無し	12
118	320	15840	女	33	看護部4階病棟	看護師	無し	2
119	321	252	男	47	事務部	事務員	課長	28
120	322	12818	女	45	看護部精神科病棟	准看護師	無し	5
121	323	16292	女	23	看護部3階病棟	看護補助者	無し	1
122	324	14852	女	20	看護部精神科病棟	看護補助者	無し	3
123	325	15099	女	23	看護部2階病棟	看護補助者	無し	2
124	326	14503	男	30	医局	医師	無し	1
125	327	13980	女	24	看護部3階病棟	看護補助者	無し	4
126	329	10796	女	35	看護部4階病棟	看護師	無し	2
127	330	17480	女	45	看護部2階病棟	看護師	無し	0
128	331	9228	男	35	事務部	事務員	主任	
129	332	11813	女	39	看護部2階病棟	看護師	無し	6
130	333	11001	女	51	事務部	事務員	無し	7
131	334	13621	男	51	看護部3階病棟	看護師	看護師長	4
132	335	16809	男	24	看護部3階病棟	看護補助者	無し	1
133	336	675	男	78	医局	医師	無し	4
134	337	13395	男	26	事務部	事務員	無し	3
135	338	14817	男	45	医局	医師	部長	3
136	339	10887	女	55	事務部	事務員	無し	7
137	340	14918	男	28	医局	医師	無し	3
138	341	13468	女	23	看護部4階病棟	看護補助者	無し	4
139	342	2024	男	54	薬局	薬剤師	薬局長	30
140	343	8646	女	30	看護部神経科病棟	准看護師	無し	3
141	344	1833	女	42	看護部精神科病棟	看護師	看護師長	20
142	345	15993	女	43	看護部3階病棟	看護師	無し	2
143	328	13421	女	24	看護部精神科病棟	看護補助者	無し	4
144	287	9854	女	26	看護部3階病棟	准看護師	無し	5

## 医療安全文化意識調査調査者リスト

	配付CD	コード	性	年齢	部署	職種	役職	勤務年数	入力状況
145	346	17085	女	50	看護部神経科病棟	准看護師	無し	0	○
146	347	15884	女	45	看護部副部長	看護師	看護副部長	2	○
147	348	7691	女	46	看護部2階病棟	准看護師	無し	8	○
148	349	15841	女	37	看護部2階病棟	看護師	無し	2	○
149	350	11608	女	42	看護部内科外来	看護師	無し	7	○
150	351	13094	女	26	検査室	臨床検査技師	無し	5	●
151	352	13476	男	26	リハビリテーション室	理学療法士	無し	4	○
152	353	16887	女	28	看護部3階病棟	看護補助者	無し	1	○
153	354	14907	女	48	看護部3階病棟	看護師	指導係	3	○
154	355	9367	女	46	看護部精神科病棟	看護補助者	無し	2	○
155	356	15728	女	56	看護部3階病棟	看護補助者	無し	2	○
156	357	13079	女	33	看護部3階病棟	看護師	主任	6	○
157	358	6029	女	48	看護部神経科病棟	看護補助者	無し	12	○
158	359	16906	男	26	薬局	薬剤師	無し	1	○
159	360	16801	女	31	医局	医師	無し	1	○
160	361	10498	女	33	看護部2階病棟	看護師	主任	7	○
161	362	16716	男	24	看護部4階病棟	准看護師	無し	1	○
162	363	13510	女	43	看護部2階病棟	看護師	看護副師長	4	○
163	364	308	女	42	検査室	臨床検査技師	主任	22	○
164	365	15738	女	37	リハビリテーション室	言語療法士	無し	2	○
165	366	15875	女	20	看護部2階病棟	看護補助者	無し	3	○
166	367	15488	女	30	看護部4階病棟	看護補助者	無し	3	○
167	368	8530	女	46	看護部精神科病棟	准看護師	無し	4	○
168	369	14029	男	64	事務部	事務員	部長	4	○
169	370	15791	女	20	看護部精神科病棟	看護補助者	無し	2	○
170	371	17219	女	43	看護部内科外来	看護師	無し	0	○
171	372	16729	女	47	看護部内科外来	看護師	看護師長	1	○
172	373	17069	女	53	看護部3階病棟	看護補助者	無し	1	○
173	374	17479	男	35	看護部4階病棟	看護師	無し	0	○
174	375	17346	女	35	医局	医師	無し	0	○
175	376	16812	男	27	医局	医師	無し	1	○
176	377	7161	女	41	看護部内科外来	看護師	無し	9	○
177	378	16843	女	41	看護部神経科病棟	看護補助者	無し	1	○
178	379	13966	男	34	事務部	事務員	無し	3	○
179	380	336	女	47	事務部	事務員	主任	22	○
180	295	694	男	42	医局	医局	医長	2	○
181	381		女	24	給食部(質問紙)	栄養士	無し	4	○
182	382		女	42	給食部(質問紙)	栄養士	無し	5	○
183	383		男	52	給食部(質問紙)	調理員	無し	5	○
184	384		男	38	給食部(質問紙)	調理員	無し	4	○
185	385		女	25	給食部(質問紙)	栄養士	無し	3	○
186	386		女	22	給食部(質問紙)	栄養士	無し	2	○
187	387		女	24	給食部(質問紙)	栄養士	無し	4	○
188	389		女	58	給食部(質問紙)	調理員	無し	5	○
189	388		女	54	給食部(質問紙)	調理員	無し	5	○

## 医療機関における安全文化の実態調査について

看護部精神科病棟

様

標記の件について、国立保健医療科学院よりインターネットを利用したアンケート調査の依頼がありました。お忙しいところたいへん恐縮ですがご協力をお願いいたします。

(病院課長 土門)

手順：各部署のコンピュータ端末より、<http://www.onsenfan.com/anzenbnka/> にアクセスすると「医療機関における安全文化の実態調査」の画面がでてきます。そこで、この調査に同意される方は、「同意する」をクリックするとアンケート画面が表示されますので、そこに必要事項を入力していただくものです。入力終了して送信ボタンを2回（終了・確認）クリックしていただくと完了です。インターネットにつながる環境があれば、24時間ご自宅からの入力も可能です。

留意事項：アンケートは（Ⅰ）と（Ⅱ）からなり、アンケート（Ⅰ）は4項目の入力と4項目の選択からなり、そのなかで施設IDとコード（配付コード）は決まっております。施設IDは001を入力してください。コードは下記に記載しております配付コードを入力願います。役職名や職種の選択で該当標記のないものについては、もっとも近いと思われる項目を選択してください。アンケート（Ⅱ）は54質問あり、A～Fの6回答例を1カ所チェック入力していただきます。表示文字サイズによりA～F回答例のうちFが画面より欠ける場合があります。表示文字を小にするか、マウスでフレームを下げてご覧ください。

施設IDは 001

このコード（配付コード）は誤入力照会用です。個人名は送信されません。

201

入力は平成15年2月5日～平成15年2月14日までをお願いします。

## 医療機関における安全文化の実態調査について

看護部4階病棟

様

標記の件について、国立保健医療科学院よりインターネットを利用したアンケート調査の依頼がありました。お忙しいところたいへん恐縮ですがご協力をお願いいたします。

(病院課長 土門)

手順：各部署のコンピュータ端末より、<http://www.onsenfan.com/anzenbnka/> にアクセスすると「医療機関における安全文化の実態調査」の画面がでてきます。そこで、この調査に同意される方は、「同意する」をクリックするとアンケート画面が表示されますので、そこに必要事項を入力していただくものです。入力終了して送信ボタンを2回（終了・確認）クリックしていただくと完了です。インターネットにつながる環境があれば、24時間ご自宅からの入力も可能です。

留意事項：アンケートは（Ⅰ）と（Ⅱ）からなり、アンケート（Ⅰ）は4項目の入力と4項目の選択からなり、そのなかで施設IDとコード（配付コード）は決まっております。施設IDは001を入力してください。コードは下記に記載しております配付コードを入力願います。役職名や職種の選択で該当標記のないものについては、もっとも近いと思われる項目を選択してください。アンケート（Ⅱ）は54質問あり、A～Fの6回答例を1カ所チェック入力していただきます。表示文字サイズによりA～F回答例のうちFが画面より欠ける場合があります。表示文字を小にするか、マウスでフレームを下げてご覧ください。

施設IDは 001

このコード（配付コード）は誤入力照会用です。個人名は送信されません。

202

入力は平成15年2月5日～平成15年2月14日までをお願いします。

医療機関における安全文化の実態調査の入力操作は下記の手順です。

### 記

インターネットのアドレスに

- ① <http://www.onsenfan.com/anzenbnka/> を打ち込む
  - ② 医療機関における安全文化の実態調査画面が表示される。
  - ③ 実態調査画面で同意の意思確認をおこなう。
  - ④ 同意できる場合は、《同意する》をクリックする。
  - ⑤ 《同意する》をクリックするとアンケート画面が表示される。
  - ⑥ そこで、アンケート入力説明を読み  
施設IDに**001**を入力  
コード番号を入力（各個人宛て依頼用紙に印刷された番号）  
アンケート説明にしたいがい、入力、選択、クリックをする。  
(※施設IDとコードは決まったものを入力してください。)
  - ⑦ 入力が完了したら送信ボタンを押す。
  - ⑧ 入力確認画面が表示され、OKなら下部にある送信ボタンを押す。
  - ⑨ 最終画面が表示されトップ画面へを押す。
  - ⑩ 最初の実態調査画面にもどります。続けて他の人が入力できます。
- ※送信ボタンは、アンケート入力終了時と入力データ確認時の2回押すこととなります。

表6&gt; 医療機関意識調査基本属性結果

調査期間：平成15年2月5日（水）～平成15年2月17日（月）

依頼数	189人
回収	175人
回収率	92.6%

役職	総数	男	女
有	37	17	20
無	138	14	124

総数	男	女
175	31	144
100.0%	17.7%	82.3%

経験年数	男女	男	女
～2	33	5	28
3～5	40	10	30
6～10	26	5	21
11～20	43	4	39
21～30	28	4	24
31～	5	3	2

年齢	男女	男	女
最大	76	76	60
最小	19	22	19
平均	39.285	39.741	39.187
標準偏差	11.370	14.251	10.646

回答者職種区分	
医療1（医療職診療系）	
医師	13名
看護師	46名
准看護師	30名
看護助手	37名
薬剤師	5名
医療2（医療職技術系）	
臨床検査技師	3名
診療放射線技師	2名
理学療法士	4名
作業療法士	2名
言語聴覚士	1名
栄養士	6名
その他（事務系）	
事務職員	13名
社会福祉士	2名
その他	11名
合計	175名

## 表7 &gt; 因子分類

## 1) 質問の11ファクター分類

F 1	仕事への満足度⇔Job Satisfaction
F 2	職場意識⇔Facility Concern
F 3	組織信頼度 (人的VSシステム) ⇔Facility Reliability #1 (human vs. process error)
F 4	組織信頼度 (他組織) ⇔Facility Reliability #2 (compared to other facilities)
F 5	組織信頼度 (エラー頻度) ⇔Facility Reliability #3 (error frequency)
F 6	失敗に対する文化 (エラー報告) ⇔Culture of Blame #1 (reporting of errors)
F 7	失敗に対する文化 (尊敬と恥) ⇔Culture of Blame #2 (respect and shame)
F 8	失敗に対する文化 (失敗から学ぶ) ⇔Culture of Blame #3 (learning from errors)
F 9	安全のための資源と訓練⇔Resources & Training
F 10	個人的な安全への倫理観⇔Personal Safety Ethics
F 11	コミュニケーション⇔Communication

## 2) 48質問11ファクター分類

F 1	仕事への満足度⇔ 4、6
F 2	職場意識⇔ 1、2、5、7、14
F 3	組織信頼度 (人的VSシステム) ⇔ 15、40、41、47、48
F 4	組織信頼度 (他組織) ⇔ 11、12、13
F 5	組織信頼度 (エラー頻度) ⇔ 39、42、
F 6	失敗に対する文化 (エラー報告) ⇔ 21、22、23、26
F 7	失敗に対する文化 (尊敬と恥) ⇔ 16、20、24、44、45、46
F 8	失敗に対する文化 (失敗から学ぶ) ⇔ 25、43
F 9	安全のための資源と訓練⇔ 9、10、32、36
F 10	個人的な安全への倫理観⇔3、8、28、29、30、31、33、34、35、37
F 11	コミュニケーション⇔17、18、19、27、38

図1 > 調査票回収方法

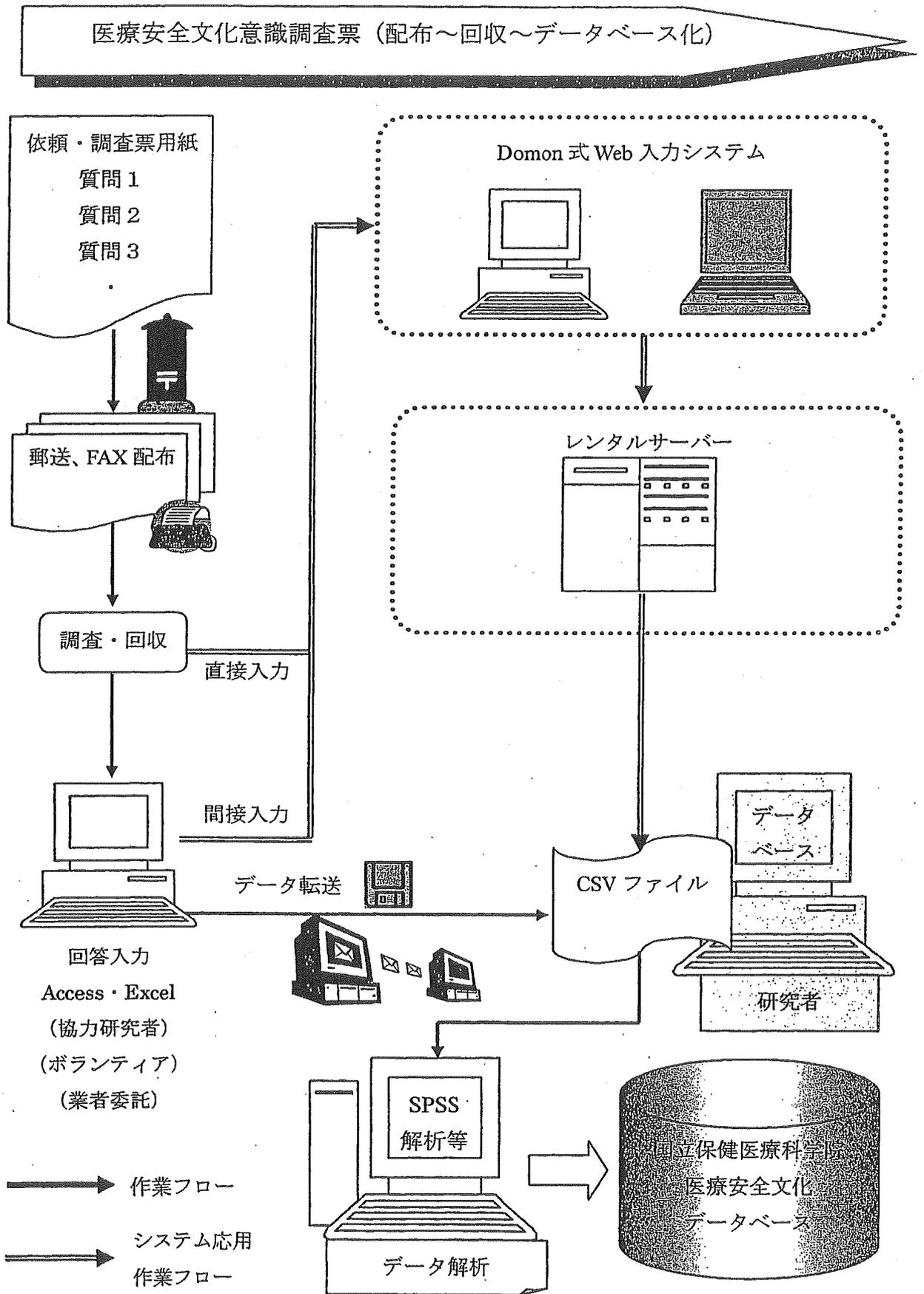
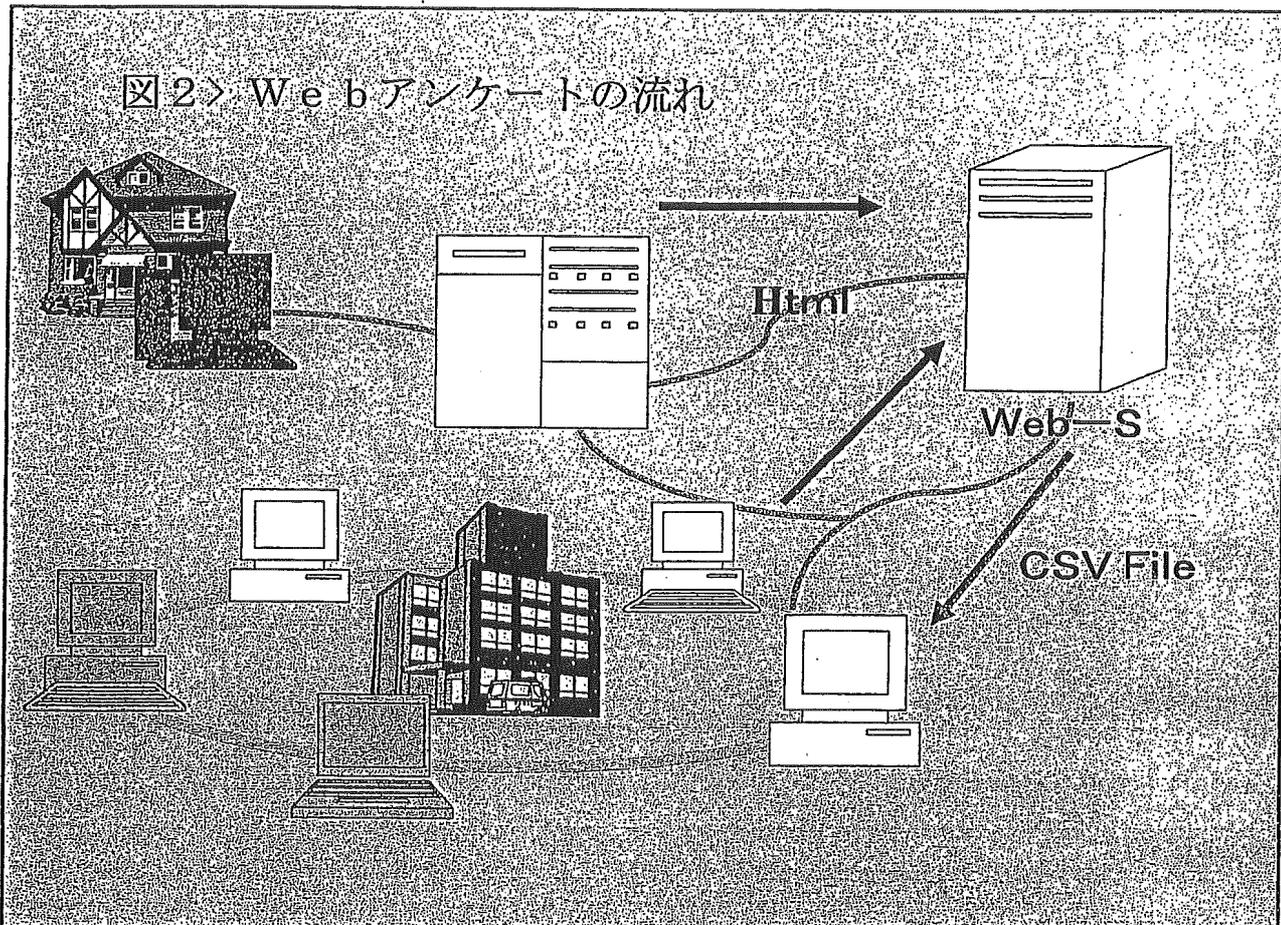


図2&gt; Webアンケートの流れ



医療機関における安全文化の実態調査	
テーマ	医療機関の組織としての安全への取りくみと職員への安全への意識の実態を知る
調査者	藤澤由和 国立保健医療科学院健康科学部(HI4.10.15~HI5.3.7)
調査目的	医療機関における安全文化の現状を把握することを通して、より実践的かつ具体的な医療安全対策の推進を促すこと。 さらに医療安全文化という新たな研究領域における、概念規定と測定手法のより一層の向上に対して当該調査を通して寄与することを目的とする。
調査期間	平成14年10月16日～平成16年9月7日
対象者	全職種・全職員の方
対象者への配慮	同意の得られた職員の方に回答してもらう。
調査手法	自入力式質問法、電子送受信法
分析手法	順列別・順列別寄を中心とした統計解析、多変量解析、主成分分析など
文献	OPB: FY2000, Patient Safety Questionnaire 和訳4枚
この質問票は匿名で送られ、集計された形での分析結果が公表されることはありませんが、送信いただいた個別データが公開されることはありません。 月 日 に回答をお願いします。	
同意ご同意される方は「同意する」をクリックしてください。【同意する】	
研究者ID (管理用)	

医療機関における安全文化の実態調査	
<p>※マウスポインタをアンケートに移動しますと画面がスクロールします。          ※アンケートは(1)と(2)からなり、(1)は記入と選択、(2)は6択一択となっています。          ※記入入力間違いはようお願ひします。入力が終わりましたら最後に送信ボタンを押してください。          ※アンケート(1)は64質問あります。回答選択箇所(A~F)の内容は以下のとおりです。</p> <p>A)全く同意できない(思わない又ははしない)          B)あまり同意できない(あまり思わない又はあまりしない)          C)どちらでもない          D)まあ同意できる(少し思う又は少しする)          E)同意できる(思う又はする)          F)わからない/どれにもあてはまらない</p>	
<p>1) 以下の質問に対して必要事項を記入、選択してください。</p> <p>施設ID (必須): _____</p> <p>コード: _____ 配布コードを入力してください。</p> <p>病年時: _____ 歳</p> <p>臨床経験年数: _____ 年目</p> <p>性別: <input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性</p> <p>役職: <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有</p> <p>役職名: <input type="text"/> 選択してください</p> <p>職種: <input type="text"/> 選択してください</p>	
<p>2) 以下の質問に対して最も当てはまると思われるものをお選びください。</p> <p>質問題: _____ 質問及び回答選択</p> <p>自分の部署(科)は「安全」の推進であると考えている。 _____</p> <p>自分の部署(科)は「安全」の推進であると考えている。 _____</p> <p>自分の部署(科)は「安全」の推進であると考えている。 _____</p>	